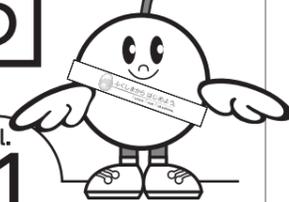


# 今が分かる

## ふくしまの

# 新聞



vol. 21

2014年7月1日

発行：福島県避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報紙は「クウェート救済金」を財源として発行しています。

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆様、福島県内外に避難されている皆様、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆様へ、避難者支援の状況や福島県の復興への動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

## 福島県が整備する復興公営住宅についてお知らせします

第1期入居の再募集は7月31日(木)まで / 第2期募集は秋頃開始予定

福島県では、原子力災害により避難指示を受けている方々のコミュニティの維持・形成の拠点となる、復興公営住宅の整備を進めています。今回は、第1期入居者募集の応募状況や、建設の進捗状況などについて紹介します。

復興公営住宅第1期分528戸の入居者を募集した結果、1,130戸の応募がありました。全体倍率は2.1倍となりました。今回応募に係る抽選会は、7月16日(水)に行います。また、入居者が募集戸数を下回る住宅(左表の網掛けの)

団地のうち、太線枠で囲われた間取りの住宅については7月1日(火)から7月31日(木)まで再募集を行います。なお、第2期募集については、平成26年秋頃募集開始の予定です。



※再募集の詳細は、福島県復興公営住宅入居支援センターまでお問い合わせください。

## 第1期 入居募集の応募結果

5月30日締切後

※網掛けの団地のうち、太線枠で囲われた間取りの住宅が再募集を行う住宅です。

所在地	団地名	棟名	入居可能月(予定)	対象町村			優先住宅			一般住宅						
				富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	飯館村	間取り	募集戸数	申込世帯数	倍率	間取り	募集戸数	申込世帯数	倍率
福島市	北信	20号棟	H27.3				○	2LDK	2	2	1.0	2LDK	6	4	0.7	
								3LDK	4	6	1.5	3LDK	12	9	0.8	
	笹谷	8号棟	H27.3					○	2LDK	1	2	2.0	2LDK	2	2	1.0
									3LDK	3	3	1.0	3LDK	6	4	0.7
									2LDK	1	0	0.0	2LDK	2	1	0.5
		9号棟	H27.3					3LDK	3	3	1.0	3LDK	6	4	0.7	
		計							14	16			34	24		
会津若松市	古川町	1号棟	H26.12	○	○	○	○	2LDK	5	7	1.4	3LDK	15	11	0.7	
								2LDK	9	12	1.3	3LDK	33	33	1.0	
	年貢町	2号棟	H27.1	○					3LDK	1	5	5.0	2LDK	3	2	0.7
									3LDK	1	1	1.0	2LDK	3	3	1.0
		計							16	25			54	49		
郡山市	柴宮	57号棟	H27.3	○	○	○	○	2LDK	6	15	2.5	3LDK	24	60	2.5	
								2LDK	5	6	1.2	3LDK	15	31	2.1	
	日和田	1号棟	H26.11	○					2LDK	8	47	5.9	3LDK	32	120	3.8
									2LDK	6	12	2.0	3LDK	14	22	1.6
	東原	1号棟	H27.1	○					2LDK	10	5	0.5	3LDK	40	34	0.9
3LDK									3	9	3.0	3LDK	12	12	1.0	
		計							35	85			125	267		
いわき市	湯長谷	24号棟	H27.3	○	○	○	○	2LDK	10	47	4.7	3LDK	40	192	4.8	
								2LDK	3	7	2.3	2LDK	12	19	1.6	
	下神白	1号棟	H27.1	○					3LDK	4	19	4.8	3LDK	16	38	2.4
									2LDK	5	15	3.0	2LDK	20	32	1.6
		2号棟	H27.1	○					3LDK	4	13	3.3	3LDK	16	36	2.3
									2LDK	3	11	3.7	2LDK	12	26	2.2
		3号棟	H27.3	○					3LDK	4	20	5.0	3LDK	16	37	2.3
									2LDK	3	10	3.3	2LDK	12	20	1.7
		4号棟	H27.3	○					3LDK	4	10	2.5	3LDK	16	24	1.5
									2LDK	2	4	2.0	2LDK	8	13	1.6
	5号棟	H27.3	○					3LDK	3	9	3.0	3LDK	12	25	2.1	
								2LDK	2	4	2.0	2LDK	8	12	1.5	
	6号棟	H27.3	○					3LDK	3	9	3.0	3LDK	12	12	1.0	
								2LDK	2	4	2.0	2LDK	8	12	1.5	
		計							50	178			200	486		
		合計							115	304			413	826		

問 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320 復興公営住宅 入居 検索



## 復興公営住宅モデルルームの紹介ムービーができました!

見学された方々からお話を伺いました



### 復興公営住宅に関するよくある質問

- 抽選に当たっても、辞退はできる? できます。辞退される場合は辞退届を提出していただけます。
- ペット飼育可能な住宅は? 第1期募集にはペット飼育専用住宅はありませんが、第2期募集以降に整備を予定しています。
- エレベーターは設置されるの? 3階建て以上の集合住宅に設置します。

その他のQ&Aについても、福島県復興公営住宅入居支援センターのWEBサイトに掲載しています。

復興公営住宅 入居 検索

問 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320

この動画では、復興公営住宅の建設計画や建築中の様子、郡山市に設置した復興公営住宅のモデルルームの部屋の間取りなどの紹介を行うとともに、実際に県民の方にモデルルームにお越しいただき、住宅入居にあたってのご要望などをお聞きした様子を紹介しています。動画は福島県生活拠点課のWEBサイトからご覧ください。

福島県復興公営住宅 動画 検索

復興公営住宅モデルルーム  
郡山地区 郡山市麓山1-1-1(郡山合同庁舎敷地内)  
いわき地区 いわき市小名浜字辰巳町23  
開館時間 10時～17時(土日祝日も開館)  
※休館日:毎週水曜日・年末年始

## 復興支援事業

住まいの確保を応援します  
空き家・ふるさと

福島県では、東日本大震災で避難されている方などが県内の空き家を購入または賃借し、自ら居住するために、リフォアム等に補助金を交付し、空き家の活用を推進します。

申請期間 平成27年2月20日(金)まで  
※平成27年3月31日(火)までに全ての手続きを完了する必要があります。

対象 東日本大震災(原子力災害を含む)で避難されている方や県外から福島県に移住される方

補助額 リフォーム・工事費の2分の1(最大150万円)  
ハウスクリーニング等:最大40万円(改修前に必要となる清掃等に限りません)  
※詳しくは、建築指導課のWEBサイトにてご確認ください。

問 空き家・ふるさと復興支援事業 検索  
福島県 各建設事務所建築住宅課  
福島県庁 建築指導課  
☎024-521-7528

## 復興公営住宅の建設状況

第2期以降と市町村整備分

県では、市町村営を含む復興公営住宅の地区名、計画戸数、構造及び現在の状況等を公表しています(毎月更新)。詳しくは、下記WEBサイトをご覧ください。  
※地震・津波等の被災による、各市町村の罹災住民向け住宅の整備状況も掲載しています。

福島県 復興公営住宅の進捗 検索 (平成26年5月31日時点)

事業主体	団地名または地区名	計画戸数	現在の状況				完成予定年度	
			用地		設計			建設
			選定	確定	着手	完了	着手	完了
福島県	福島市	飯坂	58	→	→			H27
	会津若松市	城北町	30	→	→			H27
	郡山市	富田町2	40	→	→			H27
		富田町3	40	→	→			H27
		富田町4	34	→	→			H27
		八山田2	40	→	→			H27
		八山田3	40	→	→			H27
		東原2	15	→	→			H27
		東原3	20	→	→			H27
		安積町1	20	→	→			H27
		安積町2	35	→	→			H27
		鶴見担	30	→	→			H27
	いわき市	田村町岩作	80	→	→			H27
		安積町4	16	→	→			H27
		平八幡	12	→	→			H27
		小名浜大原	50	→	→			H27
		小川町	50	→	→			H27
		北好間中川原	300	→	→			H27
		勿来酒井	200	→	→			H27
		泉町本谷	250	→	→			H27
		内郷宮町	70	→	→			H27
		小川町2	50	→	→			H27
	二本松市	小川町3	30	→	→			H27
		常磐2	150	→	→			H27
		四倉	150	→	→			H27
		油井1	70	→	→			H27
油井2		200	→	→			H27	
南相馬市		上町	150	→	→			H27
		北原	264	→	→			H27
		辻内	150	→	→			H27
三春町		平沢	92	→	→			H27
		川俣町	78	→	→			H27
	田村市	船引	18	→	→		H27	
市町村が整備する住宅	桑折町	東段地区	25	→	→		H26	
	飯館村	飯野町団地	23	→	→		H26	
	葛尾村	恵下越地区	125	→	→		H26	
	川内村	宮ノ下1	15	→	→		H26	
		宮ノ下2	10	→	→		H26	
	川俣町	新中町	40	→	→		H26	
	大玉村	横堀平	67	→	→		H26	
	本宮市	和田	20	→	→		H27	
		仁井田1	22	→	→		H27	
		仁井田2	19	→	→		H27	
第1期で募集した住宅(応募結果の表を参照)		528					H26	
未定(建設用地が未確定)		1,164						
合計		4,890						

# 避難者の皆さまを 県内から支える 相談窓口

「toiro」

## 「ふくしまの今とつながる相談室 toiro」開設

今年5月、福島市内に「ふくしまの今とつながる相談室 toiro」が開設されました。「toiro」は、福島県の委託を受けて一般社団法人ふくしま連携復興センターが運営。県内外の自治体や避難者支援団体と連携を取りながら、県外に避難している方々への支援活動を行っています。

今回は「toiro」の開設目的や今後の活動などについて、担当の柳本さんと佐藤さんにお話を伺いました。



柳本 新一さん 佐藤 宏美さん

### Q 「toiro」の由来を教えてください。



**柳本さん** 震災から3年が経過した今、福島に戻ることを決めた方、戻らないことを決めた方、まだ決断せずに避難生活を続ける方、避難されている方の想いは様々で、まさに十人十色です。そうした想いをひとつひとつ丁寧に受け止める。そんな想いを込めて「toiro」（十色）と名付けました。

### Q どんな活動をしているのですか？

**柳本さん** 主に県外に避難されている方から電話でご相談を受け、解決のお手伝いをします。例えば、「除染はどのくらい進んでいるの?」「戻っても仕事が再開できるか心配…」など、電話で内容を確認したら、それらにお応えするために情報収集したり、適切な窓口を調べて問い合せたりします。また、ふくしま連携復興センターの会員団体や行政、企業とのネットワークを活用して、福島の情報伝える人材を派遣することも可能です。

電話相談  
対面相談

相談窓口の  
紹介

ふくしまの今を  
伝える  
人材の派遣

ふるさとに戻ることを考えているので福島県内の情報がほしいなあ。

県外から戻ったママたちとお話しできる場があれば教えてほしい。

避難者の集まりに福島に詳しい人を探したいのですが。

### Q 支援員になったきっかけを教えてください。

**佐藤さん** 私は福島の出身なのですが、発災当時は京都に住んでいました。その時、家族と連絡を取りたくてもなかなか取れなかったり、物資を送りたいのに送れなかったりして…とてももどかしく感じたことを覚えています。初めは、京都に避難された方との交流会などに参加していましたが、日に日に「少しでもいいから生まれ育った福島に立ちたい」という思いが強くなって…。福島に戻って、福島県の中から外に向かって情報発信をしようと思うようになりました。

**柳本さん** 私は埼玉出身で、ずっと東京のIT企業に勤務していました。東日本大震災の後、何か自分にできることはないかと思い、仕事をする傍ら、時間を見つけては毎月のように宮城県石巻市や福島県南相馬市のボランティアに足を運んでいたんです。福島の復興には長い時間がかかると実感して、長期的に関わっていく決意をしていました。昨年、約12年間勤めた会社を退職することを決めるとき、福島に転居して復興活動に関わっていく道を選択したんです。

### Q 今後、どのように活動していきたいですか？

**佐藤さん** 皆さんのお話を伺いして、少しでもご要望に応えることで共に歩んでいければと思っています。本当に何でもいいんです。「福島県の新聞が読みたい」とか「今、学校給食がどうなっているのか知りたい」とか。「こんなことで電話するのは…」とためらわずに、どんなに小さなことでもいいですから、いつでも気軽にお電話いただければと思います。

ふくしまの今とつながる相談室

佐藤 宏美さん

「toiro」への  
相談は  
こちらから

一度お電話をいただければ折り返しお電話します。通話料のことは心配せずにお気軽にご相談ください。

ふくしまの今とつながる相談室toiro 相談ダイヤル ☎024-573-2731 窓口担当 柳本・佐藤

(運営:一般社団法人ふくしま連携復興センター)  
(毎週月曜日・水曜日・金曜日:10時~17時)

※祝祭日の場合、窓口はお休みとなります。  
※窓口が休みの日でも、留守番電話にメッセージをいただければ折り返しお電話します。

### 地域の再生に向けた動きを伝える

## 「ふるさとの今」

このコーナーでは、再生に向かうふるさとの現在の様子をご紹介します。今回は、楡葉町からのレポートをお届けします。

### 広野-竜田駅間の運行再開 (楡葉町)

6月1日、震災以来3年3か月ぶりに、JR常磐線広野-竜田駅間の運行が再開されました。再開を記念して、楡葉町では同日「電車に乗ってならばへ行こう!」イベントを開催。いわき駅を出発した松本幸英町長と約160名の参加者が、久しぶりに竜田駅へと降り立ちました。

翌日には、役場業務の一部が楡葉町役場で再開され、職員も早速、JRを利用して通勤しています。楡葉町の復興は、常磐線とともに走り出しました。

問 楡葉町役場 復興推進課 ☎0246-46-2551

### 原子力 損害賠償 宅地・建物・借地権の賠償手続きについて

④ 賠償金額の合意・支払い

東京電力 請求者に賠償金額の支払い。

③ 賠償金額の算定方法の選択・賠償金額の確定

東京電力 請求者に賠償金額の算定方法を選択(定型)評価/個別評価/現地評価し、東京電力にご請求書②を返送。

② 賠償対象資産の確認

請求者 賠償対象資産を確認して、請求書①に所有不動産情報を記入し、東京電力に返送。

① 請求準備

請求者 ①南相馬市及び川俣町以外の市町村から送付された所有資産の課税明細を東京電力に送付。または、②南相馬市及び川俣町市町村から送付された所有資産の課税明細を東京電力に送付。市町村から送付された所有資産の課税明細を東京電力に送付し、請求者が直接取得した課税明細の送付可。

**ポイント①** 「請求書①」には定型評価の場合の賠償金額が記載されています。

**ポイント②** 県では、現地評価の選択等について、県内各地で不動産鑑定士による無料対面相談を随時実施しております。

**ポイント③** 宅地・建物・借地権の損害賠償手続きに合意された後、住居確保に係る費用の賠償請求手続きが可能とされており、賠償金額を超過した際の超過分については、賠償上限金額の範囲内で支払われます。

**ポイント④** 宅地・建物・借地権の損害賠償手続きに合意された後、住居確保に係る費用の賠償請求手続きが可能とされており、賠償金額を超過した際の超過分については、賠償上限金額の範囲内で支払われます。

問 東京電力株式会社 福島原子力補償相談室 (土地・建物・家財の賠償に関するご相談専用ダイヤル) ☎01200-9265096 (毎日9時~21時) 福島県 ☎024-5233-1501 (平日8時30分~17時15分)

### 県外での支援イベントのお知らせ

**新潟県 ふるさと絆交流会**

新潟県の下地域に避難されている方々を対象に、広域的に交流会を開催します。専門家による情報提供・相談コーナーもあります。

日時	7月21日(月・祝)	11時~15時30分
場所	村上市瀬波温泉 夕映えの宿 汐美荘	
問(申込)	新潟県 県民生活・環境部 広域支援対策課 ☎025-282-1775	

※その他地域の交流会等の情報についても、下記サイトをご覧ください。

全国に避難されている方々のための地域情報サイト

避難されている方々へ  検索

携帯からもご利用できます。

### 県内 イベント情報

**南相馬市 相馬野馬追**

国の重要無形民俗文化財に指定されている神事。3日間わたって開催されます。ハイライトとなる2日目には、甲冑に身を固めた騎馬武者たちが町を闊歩する「お行列」に始まり、「甲冑競馬」や「旗神争奪戦」が繰り広げられます。

日時 7月26日(土)~28日(月)

場所 南相馬市及び相馬市内の各所

詳細は相馬野馬追執行委員会のWEBサイトにてご確認ください。

相馬野馬追 検索

**伊達市 霊山太鼓まつり**

毎年開催されている「霊山太鼓まつり」には、33組の大鼓が集結。総勢700名の打ち手が一堂に会します。保存会による演奏の他、ちびっ子による元気な演奏も披露されます。

また、復興が進んできた伊達市の元気なお祭り「だてな復魂祭」も同時に開催。楽しいイベントと美味しい食べ物をご用意をお待ちしております。ぜひご来場ください。

日時 8月23日(土) 9時~21時

場所 保原総合公園 (保原大泉グラウンド)

問 伊達市市民協働課 ☎024-575-1177

10年以上前から毎年我が家に来てくれるツバメ。今年は4羽の雛が生まれました!カラスや猫に狙われながらも、大きな口・鳴き声で親から餌をもらう様子が、強い生命力を感じます。全員が元気に巣立ち、また来年帰ってきてくれることを願っています。【ヨウ】